令和4年度

弘前市地域包括支援センター 地域課題への取り組み

弘前市の地域包括支援センターでは地域ケア会議において、明らかとなった地域の課題に対し、地域住民や地域の関係団体と一緒に地域課題解決に取り組んでいます。

地域課題①

地域住民に対する地域包括支援センターの認知度が低い

対応

広報紙の内容を地域ケア推進会議で検討し、具体的な相談内容を含めた広報紙を作成し、毎戸配布しています。

また、地域住民や高齢者に対して健康教室、出前講座等を開催する中で、広報紙やチラシを配ることで、福祉に関する相談窓口が地域包括支援センターであるという周知を図っています。

地域課題②

地域住民が認知症に関する知識や理解を身に付け、地域住民主体の見守り体制を作る必要がある

対応

今年度は、認知症サポーター養成講座を地域住民や民生委員のみならず、小～大学生といった学生を対象に開催しました。

また、「認知症予防」をテーマに出前講座を開催し、地域住民に対して、認知症の知識普及を図ることが出来ました。

さらに、地域住民主体の認知症高齢者の見守りを目的とした、「第一包括わんわんパトロール隊」を立ち上げ、日々の何気ない犬の散歩の時間を活用した見守り体制を構築することが出来ました。

令和5年3月　介護福祉課作成